

「知識を身につけるカリキュラム」体育科(保健領域)学習指導案〔小学校6年生〕

相模原プラン「写真には、様々な情報が含まれていることを知り、SNSに投稿する際の注意点を理解する」

1 単元名「けがを防ぐ」

(G保健(2)けがの防止(ア)交通事故や身の回りの危険が原因となっておこるけがとその防止)

2 教材名「写真の投稿」(事例で学ぶNetモラルC-19 個人情報・プライバシー)

3 本時の目標 犯罪被害の防止には、周囲の危険に気づき、的確な判断のもとに安全に行動できると、環境を安全に整えることが必要であることを理解できるようになる。

4 本時の流れ(本時は、4/4時間目)

	学習活動と内容	指導上の留意点
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○どんな所や状況で犯罪被害が起こるのかを予想する。 ・人通りが少ない道路 ・夜の街灯ない道路や公園 ・子どもが1人有的时候き ・犯罪被害を防ぐには、どうすればよいのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がイメージできない場合は、教科書の挿絵を参考にさせながら、犯罪被害が起こる場所や状況を予想させる。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の資料や2つの遊び場の絵を見て、犯罪被害はどのような場所や状況で起こりやすいか考える。 ・資料を見ると、屋外屋内に関係なく犯罪が起こっていることが分かる。 ・公園の中が外から良く見えない方が、不審者に気づけないうかもしれない。 ・街灯がないと、暗くて犯罪が起こっても気づきにくい。 ○出し合った意見をもとに、犯罪被害を防ぐためにはどうすればよいか考える。 ・複数人で遊ぶようにして、1人では遊ばない。 不審者が現れたら、すぐに子ども110番の家などに助けを求める。 ・公園に街灯をつけたり、きれいにしたりして犯罪が起こりにくい環境を整える。 ○教科書の資料「インターネットによる犯罪被害」を読み、SNS上でも犯罪に巻き込まれることがあることを確かめる。 ・SNSを投稿するときには、どのようなことに気をつけばよいのだろうか。 ○動画を視聴し、SNSを投稿する際に注意することを考える。 ・SNSは、不特定多数の人が見る場合があることを理解した上で使う。 ・投稿した記事や写真からも、個人が特定できる情報が分かることがあるので、写真の内容に十分注意して投稿する。 	<p>ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが犯罪被害の防止を考えやすいように、児童の意見を犯罪が起こりやすい場所と状況に分けて整理しながら板書する。 ・自分自身の行動についてだけでなく、地域の環境面からも、犯罪の防止策を考えさせる。 ・動画を視聴する場合は、ストーリーパートを視聴し、注意点を話し合ってから、まとめパート(3分14秒から)を閲覧しても良い。 指導資料:「ちょっと待って! SNSで写真を投こうするときに気をつけること」
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習をまとめて、毎日の生活やこれからの学習に活かせることがないか考える。 ・周りから見えにくい場所は、人の目が届きにくく犯罪にあいやすいので、遊ぶ場所をよく考えたい。 ・不審者にあってもすぐ助けを呼べるように、1人だけで行動しないようにしたり、逃げ込める所を事前に知っておきたい。 ・SNS上でも、犯罪に巻き込まれるケースがあることを知ったので、インターネットやSNSを利用するときは、十分気をつけて利用したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪被害を防止するには、環境の整備と、インターネット上も含め、犯罪から身を守るために適切な行動をとることが大切だということを、児童の考えをもとに確認する。